

令和3年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

資料4-1
令和3年12月22日

協議会名: 富里市地域公共交通会議
 評価対象事業名: 地域公共交通計画策定事業

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③計画等の策定等に向けた方針
<p>1.富里市の地域特性・人口・交通特性・上位・関連計画の整理・分析(現状把握調査) ⇒各種データ及び公共交通に関するデータを収集し、地域特性、人口推移、市民の移動傾向を重ね合わせ、地域の傾向を分析・整理した。 ⇒富里市のまちづくりの目標達成に向けた、各分野計画の方向性を整理した。</p> <p>2.市民等の移動実態把握調査(各種アンケート、事業者ヒアリング) ⇒市民アンケート調査(16歳以上の男女無作為抽出、防災・防犯メール登録者5,836人)市コミュニティバス利用者アンケート調査、民間路線バス利用者アンケート調査、デマンド交通登録者アンケート調査、高校生アンケート調査、集客施設事業者アンケート調査(病院、商業施設等)交通事業者ヒアリング、8地区社会福祉協議会ヒアリングを実施。アンケート調査及びヒアリング調査を実施し、客観的データに基づく、移動ニーズや、協働の取組による事業の可能性を把握することができた。</p> <p>3.富里市の公共交通の課題の整理 ⇒上記1、2を基に、公共交通の課題を整理した。</p> <p>4.富里市地域公共交通計画(案)の策定 ⇒上記3を基に、本計画の【将来像】を掲げ、公共交通施策の目指すべき姿及び基本方針を検討した。将来像の実現を図るため、公共交通の課題への対応を図る視点から、より良くするための公共交通施策を各目標、事業の主体、スケジュールを検討した。</p> <p>5.富里市地域公共交通会議の開催 ⇒計画策定に向けて、各種内容や施策等に対して議論するために会議を開催した。(令和3年度 5回 開催予定)</p>	<p>A 計画に位置付けられたとおり、適切に実施される見込み。</p>	<p>▶ 将来像 ～暮らしを守り、みんなで支え、未来へとつなぐ持続可能な交通体系～</p> <p>▶ 暮らしを守る 少子高齢化社会において、免許を持たない高齢者と通学利用の子供たちの移動手段の確保により、市民の暮らしといのちを守るため、市民のニーズやまちづくりの方向性等、地域の実情に即した公共交通体系を構築します。</p> <p>▶ みんなで支える 市民、交通事業者、行政それぞれが抱える課題について共通認識を持ち、地域一体となって取り組む体制づくりに向け、実効性のある施策を各事業ごとに設定します。</p> <p>▶ 未来へつなぐ 既存の公共交通の手段だけではなく、「地域における輸送資源を総動員」することで、持続可能な公共交通体系を構築します。</p> <p>◆ 目指すべき姿及び方針</p> <p>1.地域全体を見渡し、市民のニーズにマッチした、富里市に合った最適な公共交通を目指す。 ⇒将来を見据えた公共交通体系の構築</p> <p>2.地域参加による、地域が自らデザインする持続可能な公共交通を目指す。 ⇒地域全体で支える公共交通の構築</p> <p>3.公共交通への市民の理解や関心を高める仕組みの構築を目指す。</p>